

子ども真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和7年11月9日
長崎市立歓刈小学校
学校だよりNO. 106
校長 田中 成年

＜子ども真ん中教育＞

～4年生 福祉体験～

4年生は総合的な学習の時間に、福祉の学習をしています。この日は、各学級1時間ずつアイマスクを使った歩行体験や体におもりをつけ、眼鏡をかけて杖について歩くなどの高齢者疑似体験も行いました。



体育館の周りを友達に支えられながらアイマスクをつけて歩いている様子です。周囲の物に気を付けるよう声をかけながら歩きます。



スロープや段差があるところは、さらに慎重に声かけをしていました。



体育館内では、互いに疑似体験装具を付け、眼鏡をかけてから杖について歩いてみるという体験をしました。



「重たい」「歩きにくい」というのが、子供たちの感想でした。



子供たちはこれらの疑似体験を通して、周囲への気配りや思いやりの心を学びました。今後様々な場面で、自ら考え方行動する子供たちの姿が見られるのではないかと思います。

畠刈小学校は

「子供ど真ん中」の学校

「豊かな心をもち、誰にでも優しい子供たち」を支えています。